

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2006-295251(P2006-295251A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2005-109114(P2005-109114)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 7/20 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 6 T 1/00 3 4 0 B

G 0 6 T 7/20 3 0 0 A

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月4日(2008.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

所定の領域の映像を取得する画像データ取得工程と、

上記画像データ取得工程により取得された映像から、人物を抽出する人物・物体抽出工程と、

上記人物・物体抽出工程により抽出した人物の身振り・行為を検出する身振り・行為検出工程と、

上記身振り・行為検出工程により検出した人物の身振り・行為の持つ重要度を算出する身振り・行為重要度算出工程と、

上記身振り・行為重要度算出工程により算出した重要度から映像内の所定処理対象領域を決定する処理対象領域決定工程と、

上記処理対象領域決定工程により決定された映像内の処理対象領域を抽象化するための抽象度を算出する抽象度算出工程と、

上記抽象度算出工程により算出された抽象度から上記映像内の処理対象領域を画像処理する画像処理工程とをコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

本発明のコンピュータプログラムは、所定の領域の映像を取得する画像データ取得工程と、上記画像データ取得工程により取得された映像から、人物を抽出する人物・物体抽出

工程と、上記人物・物体抽出工程により抽出した人物の身振り・行為を検出する身振り・行為検出工程と、上記身振り・行為検出工程により検出した人物の身振り・行為の持つ重要度を算出する身振り・行為重要度算出工程と、上記身振り・行為重要度算出工程により算出した重要度から映像内の所定処理対象領域を決定する処理対象領域決定工程と、上記処理対象領域決定工程により決定された映像内の処理対象領域を抽象化するための抽象度を算出する抽象度算出工程と、上記抽象度算出工程により算出された抽象度から上記映像内の処理対象領域を画像処理する画像処理工程とをコンピュータに実行させることを特徴とする。